

# JCMA 関西

Japan Construction Machinery and Construction Association, Kansai Branch Office

JCMA関西 秋号

巻頭言「関西支部  
70周年に当たって」

祝辞

令和2年度通常総会

関西支部創立70周年

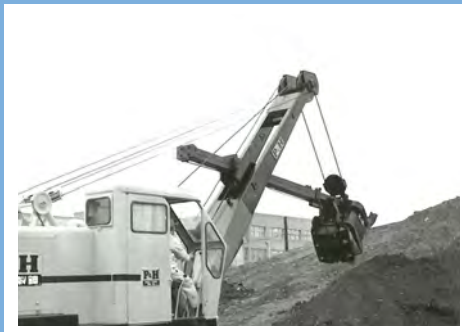
令和元年度施工技術報告会

新入会員

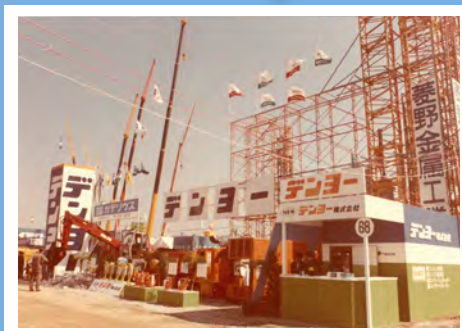
書籍紹介

支部行事報告

プラス・α



## 70th. Anniversary



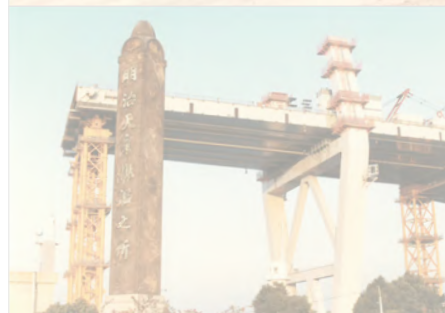
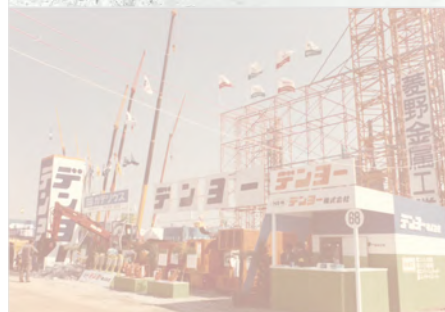
# 117

Autumn  
2020



# C O N T E N T S

巻頭言「関西支部 70 周年に当たって」・・・ 1  
 祝辞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2  
 令和2年度通常総会・・・・・・・・・・・・・・ 3  
 関西支部創立 70 周年・・・・・・・・・・・・・・ 4  
 令和元年度施工技術報告会・・・・・・・・・・・・・・ 8  
 新入会員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9  
 書籍紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11  
 支部行事報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12  
 プラス・α・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14  
 編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15



## 表紙写真 左上から

小松GD30型モーターグレーダー(S26) 2枚  
 掘削機講習会 神戸製鋼所にて(S29頃)  
 コベルコ アメリカP&H社と技術提携したショベル(S40)  
 大阪技術事務所(現・近畿技術事務所)(S42頃)  
 第11回建設機械展示会 デンヨーブース(S43)  
 奥村組 マクロ発表会(S46)  
 天保山公園から、阪神高速湾岸線安治川橋梁左岸主塔(S61)

## 関西支部70周年に当たって

関西支部 支部長 深川 良一



早いもので関西支部が70周年を迎えたという。私の大学時代の恩師（畠昭治郎先生）が関西支部長を務めておられた関係で、私自身もかなり早くから関西支部の活動に関わるようになった。

最初は大学院修士課程2回生の頃だったと思う。修士課程修了後に畠先生の研究室で助手を務めることになり、それが事実上内定した頃から関西支部摩耗対策委員会のお手伝いをするようになった。助手になってからは実際に摩耗対策委員会の幹事を務め、委員会を動かすことになった。摩耗対策委員会の委員長は、室達朗先生（現在愛媛大学名誉教授）だった。当時の摩耗対策委員会は大変活発で、2ヶ月に一度位は委員会が開催されていた。もっとも設立当初の委員会はもっと活発で、1ヶ月に一度位開催され、しかもフランス語やロシア語の文献の紹介までなされていたということである。今では考えにくいことである。

結局、私自身関西支部とご縁ができてからほぼ42年ということになる。摩耗対策委員会に少し遅れて海洋開発委員会が立ち上がり、その幹事も務めた。その後、平成11年度からは副支部長、平成18年度からは支部長を務めることになった。支部長の依頼を受けたとき、恩師の畠先生と同じポストということで恐れ多いような気がしたことを思い出す。

以上述べてきたように、私自身は長く関西支部のお世話になってきたが、関西支部あるいは日本建設機械施工協会に対するイメージはほとんど変わっていない。即ち、異分野融合に積極的で活気があるというものである。関西支部は、機械メーカー、建設、リース・レンタル、コンサルタント等の方々からなっている。出身も技術系だけ考えても土木系、機械系、電気系等いろいろである。私自身、摩耗対策委員会では、その異分野融合の面白さを実感することが多かった。建設機械の摩耗は、機械およびそ

の運動特性のことは勿論であるが、機械部品を構成する金属の特性、機械と接触する地盤材料の特性も知らなければ評価できない。委員会の最中、あるいは委員会後の懇親会の際に随分多くのことを学ばせていただいた。熱心な委員の方が多く、技術的なことだけでなく、本物の技術者の気概とでもいうべきものを教えていただいた。

関西支部あるいは協会の本質であるこの“異分野融合性”は、昨今益々重要になってきている。i-Constructionの流れは不可逆的なものであり、ICT、IoT、AI等の技術が欠かせない。今後、JCMA関西支部が中心になって、建設分野の技術革新が進んでいくことを切に希望している。

さて、そういう状況の中で、2020年はコロナウィルスの感染拡大があり、極めて異常な年として記憶されることになりそうである。3月下旬から第1波が始まり、5月初旬には一旦落ち着いたかに見えたが、早くも6月下旬からは第2波が始まった。第2波はピークアウトしたという見方もあるものの、まだ収束には至っていない。感染の拡大に伴い、支部活動は大幅に制限され、支部総会も通常の形式では開催できない、まさに支部開設以来の事態となっている。他の支部活動もオンライン形式に変更されるものが多く、関係諸氏も半ば諦めの境地にあるものと想像する。しかし、ものは考えようである。おそらく多くの皆さんは自宅待機等で通勤時間が減った分、ある程度自由時間が増えたのではないだろうか。最近将棋2冠を達成した藤井聡太8段は、この自宅待機時間が増えた時期に自分の将棋を見直したことがその後の2冠達成に繋がったと話している。これは大いに参考になる話である。コロナウィルスのマイナスの側面にばかり目を向けず、今は落ち着いて何かに取り組む時期だと思える。会員諸氏がコロナ感染終息後に大いに飛躍されることを期待して筆を置きたい。

# 祝辞

近畿地方整備局 近畿技術事務所長 達家 養浩



このたび、一般社団法人日本建設機械施工協会関西支部がめでたく創立70周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴関西支部は、昭和25年7月に社団法人日本建設機械化協会の最初の支部として設立され、建設事業の機械化推進のため、機械技術開発や合理化、各種広報、普及活動に取り組み、建設機械事業の発展に多大な貢献をしてこられたところであります。

また、平成24年に社団法人日本建設機械化協会から一般社団法人日本建設機械施工協会に移行され、建設機械だけではなく建設施工に関する調査・技術開発、普及支援活動にも取り組み、国土の利用、開発及び保全並びに経済及び産業の発展に尽くしてこられました。

これも、貴支部の歴代支部長をはじめ会員、関係各位のご努力の賜と深く敬意を表する次第であります。

最近の建設業界を取り巻く環境は、将来の人口減を見据え生産性の向上を目指した活動が活発に行われている状況であります。

国土交通省においては、建設現場における生産性を向上させ、魅力ある建設現場を目指す新しい取り組みであるi-Constructionを進めています。

i-Constructionによって、建設現場における一人一人の生産性を向上させ、企業の経営環境を改善し、

建設現場に携わる人の賃金の水準の向上を図るとともに安全性の確保を推進しています。

特にICT技術を活用した建設機械や建設施工の技術開発が活発に行われ、建設現場にも浸透してきています。

また、社会経済状況の激しい変化に対応し、インフラ分野においてもデータとデジタル技術を活用して、国民のニーズを基に社会資本や公共サービスを変革すると共に、業務そのものや働き方を変革し、インフラへの国民理解を促進すると共に、安全・安心で豊かな生活を実現するため、インフラ分野のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進しています。

このような状況の中、貴支部の果たす役割は益々重要であり社会的ニーズが高まっています。昭和20年代から続く建設の機械化、機械技術の合理化など、多くのノウハウを活かし生産性の向上に向け先導的役割を果たしていただきますよう期待するものであります。

近畿技術事務所におきましても、今後普及が進むBIM・CIMの3次元データを取り扱える技術者や、遠隔操縦建設機械のオペレーターなどの人材育成を行ってまいります。

終わりに、貴関西支部の今後益々のご発展されることを祈念してお祝いの言葉といたします。

# 令和2年度通常総会

一般社団法人日本建設機械施工協会関西支部第9回通常総会は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い大阪府に緊急事態宣言が出されたことを踏まえ、感染防止の観点から議長、議事録署名人、監査役、事務局等の最小人員の構成による出席で、令和2年5月18日（月）に開催されました。

## 深川支部長を再任

今年度の総会では、任期満了に伴う役員改選があり、支部長には、引き続き深川良一氏（立命館大学理工学部特命教授）が再任された。また副支部長には、再任の佐々木嘉仁氏（株式会社大林組）と、新たに荒金秀一氏（日立建機日本株式会社）の2名が選出されました。

## 永年団体会員表彰

例年、総会において一般社団法人日本建設機械施工協会団体会員等表彰規程に基づく、本部長表彰授与式が行われていますが、授与式は中止となりました。今年度の支部団体会員表彰は会員期間60年が2社と50年2社、40年3社のあわせて7社が表彰されました。また個人に対する表彰として、1名の運営委員が表彰されました。

支部団体会員（7社）	
会員期間60年	株式会社三興ポンプ製作所
	日立造船株式会社
会員期間50年	株式会社竹中土木
	株式会社森本組
会員期間40年	株式会社日立インダストリアルプロダクツ
	清水建設株式会社
	日本ハイウェイ・サービス株式会社
個人に対する表彰（1名）	
運営委員7年	山之内 修治 キャタピラー・ジャパン合同会社

## 令和元年度事業報告・決算報告 令和2年度事業計画・収支予算について

令和元年度事業報告では、令和元年度の建設機械施工技術検定試験の実施状況や、「建設技術展 2019 近畿」、「ふれあい土木 2019」への出展などの情報化施工（ICT 施工）の普及・促進活動の報告、トンネル工事現場見学会等の各部会活動報告がありました。

また近畿地方整備局との意見交換会や外国人技能実習制度評価試験（関西地区定期試験）の実施状況や令和2年度の決算報告が行われ承認されました。

令和2年度の事業計画に関しては、各部会・技術委員会での調査・検討や各種講習会・研修会、現場・工場見学会の実施をはじめ、「情報化施工の普及・促進」をテーマにした「建設技術展 2020 近畿」、「ふれあい土木展 2020」への出展などが予定され、近畿地方整備局との意見交換会の実施なども提案され承認されました。また、近畿地方整備局との防災協定に基づく協力体制の強化に取り組むことが確認されました。

## 優良建設機械運転員等表彰

関西支部優良建設機械運転員等表彰規程に基づく受賞者は、運転部門は2名、整備部門は6名で、合わせて8名の方が受賞されました。なお、授与式が中止となったことから記念品や記念バッジについては、別途受賞者宛てに送付されました。

運転部門（2名）	
藤原 淳	ジョイントロードサービス株式会社
中村 健一	共栄興業株式会社
整備部門（6名）	
室田 将人	株式会社アクティオ 関西支店
三木 充	コマツカスタマーサポート株式会社
松井 良二	サコス株式会社関西営業部
野澤 和也	西尾レントオール株式会社
牛尾 大輔	株式会社NISSHO
砂口 佳彦	株式会社レンタルのニッケン西日本支社

# 関西支部創立 70周年

一般社団法人日本建設機械施工協会 関西支部（旧：社団法人日本建設機械化協会 関西支部）は、昭和 25 年（1950 年）7 月、関西地区の建設事業の機械化の普及啓蒙・機械の性能向上などを目的として設立されました。

昨年度、当関西支部が創立 70 周年を迎えることができましたのも、ひとえに会員の皆様方のご協力と関係官公庁のご指導の賜物であると深く感謝いたしております。



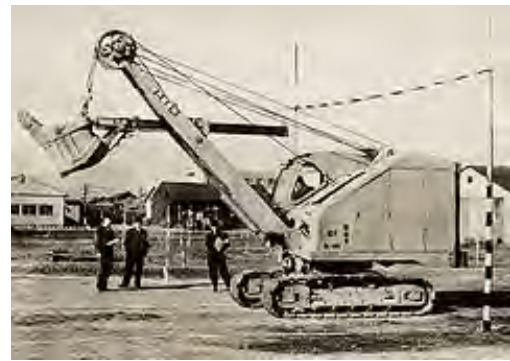
関西支部設立（S25.7）  
大阪工作事務所内に併設され  
会員数 19 社でスタート



「関西支部ニュース」  
創刊（S35）



建設機械化協議会設立（S24.3）  
翌年 3 月、社団法人建設機械化協会  
27 年、社団法人日本建設機械化協会に改称



建設機械運転士試験創設（S33）

## 昭和 25 年 1950 年

- 昭和 25 年 朝鮮戦争勃発／ジェーン台風
- 昭和 26 年 日米講和・安保条約批准
- 昭和 27 年 メーデー事件
- 昭和 28 年 NHK がテレビ本放送開始
- 昭和 29 年 第五福竜丸被爆

## 昭和 35 年 1960 年

- 昭和 30 年 森永ヒ素ミルク事件
- 昭和 31 年 神武景気／日ソ国交回復
- 昭和 32 年 諫早水害／ソ連人工衛星打上げ成功
- 昭和 33 年 東京タワー完成／関門トンネル完成
- 昭和 34 年 伊勢湾台風／キューバ革命
- 昭和 35 年 チリ地震大津波／カラーテレビ本放送開始
- 昭和 36 年 第二室戸台風／ガガーリン少佐人類初の宇宙飛行
- 昭和 37 年 三宅島噴火／東京の人口が 100 万人を突破
- 昭和 38 年 黒四ダム完成／ケネディ大統領暗殺
- 昭和 39 年 東京オリンピック開催／東海道新幹線開業
- 昭和 40 年 名神高速道路全線開通

## 昭和 45 年 1970 年

- 昭和 41 年 中国文化大革命
- 昭和 42 年 首都高速道路都市環状線完成／ベトナム戦争
- 昭和 43 年 小笠原諸島日本復帰／三億円事件
- 昭和 44 年 アポロ 11 号月面着陸／東大安田講堂事件
- 昭和 45 年 日本万国博覧会開催／大阪地下鉄工事ガス爆発
- 昭和 46 年 立山黒部アルペンルート全線開通
- 昭和 47 年 沖縄日本返還／浅間山荘事件
- 昭和 48 年 第一次オイルショック／金大中事件
- 昭和 49 年 ルパン島から小野田元日本兵帰国



「第6回建設機械展示会」を  
本部と共同で開催 (S38)



関西支部初の除雪展開催 (S59)  
(福井県)



第1回建設機械施工技術検定実技講習会開催 (S46)



第1回施工技術報告会開催 (S52)  
(土木学会関西支部と共催)

昭和55年  
1980年

- 昭和50年 本州四国連絡橋着工／沖縄海洋博開催
- 昭和51年 ロッキード事件
- 昭和52年 気象衛星ひまわり打上げ
- 昭和53年 日中平和友好条約調印／成田空港開港
- 昭和54年 天然痘根絶宣言 (WHO)
- 昭和55年 アフガニスタン紛争／モスクワ五輪ボイコット
- 昭和56年 神戸ポートアイランド博覧会開催
- 昭和57年 羽根田沖に日航機墜落事故
- 昭和58年 東京ディズニーランド開業／キトラ古墳壁画発見
- 昭和59年 グリコ森永事件
- 昭和60年 青函トンネル貫通／日航ジャンボ機墜落事故
- 昭和61年 男女雇用機会均等法施行
- 昭和62年 NTT株上場／ブラックマンデー
- 昭和63年 日本・中国・ネパール登山隊がチョモランマ登頂
- 昭和64年 平成元年消費税3%／天安門事件

平成2年  
1990年

- 平成2年 台風28号紀伊半島に上陸／東西ドイツ統一
- 平成3年 雲仙普賢岳大規模火砕流／湾岸戦争
- 平成4年 山形新幹線開業／沖縄首里城復元
- 平成5年 北海道南西沖地震／アメリカ同時多発テロ事件
- 平成6年 関西国際空港開港／南アフリカ初の黒人政権誕生
- 平成7年 阪神・淡路大震災／地下鉄サリン事件
- 平成8年 ペルー日本大使公邸人質事件
- 平成9年 香港が156年ぶりにイギリスから返還
- 平成10年 明石海峡大橋開通
- 平成11年 EU加盟国通貨「ユーロ」誕生

トピックス  
 情報化施工推進会議 (H20)  
 情報化施工推進戦略 (H25)  
 ICT 導入協議会 (H28)



摩耗対策委員会  
200 回記念行事 (H13)



関西支部 HP 開設 (H14)



情報化施工推進委員会設立 (H22)

建設技術展 近畿 開催 (H13)  
 関西支部は第 1 回から共催  
 第 2 回からは出展も

近畿地方整備局と  
 「災害時における近畿地方整備局所管施設の  
 緊急災害応急対策業務に関する協定書」締結 (H18)

関西支部事務所移転 (H15)  
 現在の谷町 2 丁目

近畿地方整備局との  
 第 1 回意見交換会開催 (H19)

平成 12 年 2000 年 平成 22 年 2010 年

- 平成 12 年 有珠山、三宅島噴火／平壤で初の南北首脳会談／二千円札発行
- 平成 13 年 アメリカ同時多発テロ事件／U S J 開園／東京デイズニーシー開園
- 平成 14 年 沖縄返還 30 周年／F I F A ワールドカップ日韓大会開催／初の日朝首脳会談／拉致被害者 5 名帰国
- 平成 15 年 自衛隊イラク派遣決定／新型肺炎 S A R S が中国などで大流行
- 平成 16 年 新潟県中越地震発生／スマトラ沖地震発生／鳥インフルエンザ流行
- 平成 17 年 J R 福知山線脱線事故／中部国際空港開港／愛知万博開催／道路公団民営化
- 平成 18 年 i P S 細胞誕生／北朝鮮が核実験、ミサイル発射／神戸空港開港
- 平成 19 年 能登半島地震、新潟県中越沖地震発生／年金記録問題／日本郵政株式会社発足
- 平成 20 年 リーマンショック発生／中国四川省で大地震／国内最大級の徳山ダム完成（岐阜県）
- 平成 21 年 裁判員裁判開始／八ッ場ダムなど国直轄ダムの建設工事見直し
- 平成 22 年 「はやぶさ」が小惑星イトカワから帰還／第二京阪道路全線開通
- 平成 23 年 東日本大震災／福島第一原子力発電所事故／紀伊半島大水害／アラブの春



一般社団法人日本建設機械施工協会  
『JCMA 関西』100号発刊 (H24)



第1回ふれあい土木展開催 (H25)  
情報化施工をPR

一般社団法人化し  
日本建設機械施工協会に (H24)

- 平成31年・令和元年 G20サミット大阪開催／消費税率10%  
／ラグビーワールドカップ日本開催
- 平成30年 西日本豪雨・北海道地震・大阪北部地震発生／米朝が史上初の首脳会談
- 平成29年 森友学園問題・加計学園問題／九州北部豪雨発生  
／中学生プロ棋士藤井聡太29連勝
- 平成28年 熊本地震発生／北海道新幹線開業／オバマ米大統領  
領広島訪問
- 平成27年 辺野古移設、国が着工／世界各地でイスラム過激派のテロ
- 平成26年 広島土砂災害／あべのハルカス開業／ノーベル平和賞に17歳マララさん／消費税率8%
- 平成25年 特定秘密保護法成立／フィリピン台風／グランフロント大阪開業
- 平成24年 東京スカイツリー開業／日本で金環日食観測／沖縄にオスプレイ配備

一般社団法人 日本建設機械施工協会  
関西支部が、昭和 25 年 (1950) 年 7  
月に発足して以来、はや 70 年の時が経  
ちました。

創立当時は、戦後の混乱をようやく脱却  
し、建設工事が拡大され始めた時期で  
あると、古い資料に残されています。

米軍の保有する建設機械の威力を目前  
に見て、将来計画の構想を練りながら、  
関西においても機械メーカーが、ブルドー  
ザやショベルを生産し始めたこの頃、米  
軍の払下げ建設機械と国産の試作品を  
同時に使用し、払下げ機械の性能の良さ  
と国産品の故障の多さに悩まされ、本当  
に苦しい時代であったとのこと。

そのような状況のもと、建設事業の機械  
化を推進し、国土開発と経済発展に寄  
与することを目的に、当協会は発足され  
ました。創立当初の「日本建設機械化  
協会」という名称にその思いが凝縮され  
ています。以来、建設機械施工に係わ  
るあらゆる分野において、研究、普及、  
啓発活動を行い、建設生産性を向上さ  
せる原動力の役目を果たして参りました。  
平成 24 年、公益法人制度改革により、  
社団法人から一般社団法人に移行する  
際、技術革新に対応した活動内容を反  
映するべく、その名称を「日本建設機  
械施工協会」に改めました。ICT 技術  
を組み込んだ情報化施工の活用、  
i-Construction 施策のもとに、建設産業  
の生産性向上や施工の安全性確保を推  
進すべく技術革新に向けてより一層の先  
導的な役割を果たし、わが国の発展に  
寄与するという心意気は変わることなく  
持ち続けております。

この間、今日に至るまで、複数の関係業  
界の会員の皆様のご協力を得て、成果  
を挙げてこられたことに、心より感謝申  
上げます。今後とも、当協会・関西  
支部の活動にご理解をいただき、温か  
いご支援を賜りますよう、何卒よろしく  
お願い申し上げます。

# 令和元年度施工技術報告会 主題「最近の建設・保全・環境技術と施工事例」

## 実際の施工事例における課題等を発表



開会挨拶

第44回施工技術報告会は、(公社)土木学会関西支部、(公社)地盤工学会関西支部、(一社)日本建設業連合会関西支部、(一社)日本建設機械施工協会関西支部の4団体の共催

で、令和2年2月13日(木)に建設交流館において、151名の参加者によって盛大に開催されました。

本報告会は、第一線で設計・施工などに、直接携わった技術者の方々から、新しい技術成果・施工事例について、ご発表、ご報告していただく場として、「施工技術報告会」を毎年開催しており、本年度は、「最近の建設・保全・環境技術と施工事例」をテーマに、難度の高い施工上の課題を、創意工夫によって克服したすばらしい事例の5件が発表されました。



閉会挨拶



ICT建機を用いた切土工事の紹介



論文の発表

### 5課題を発表

- ① ICT建機を用いた切土工事の生産性向上事例  
- 第3期管理型最終処分場建設工事 -
- ② JR福知山線を鋭角に跨ぐ生野大橋の設計・施工  
- 新名神高速道路 生野大橋(PC上部工)工事 -
- ③ 鉄道営業線上における高速道路橋梁の補修  
- 中国自動車道有野川橋補修工事の内土木工事 -
- ④ 改造スロットスターを用いたダム堤体部の削孔  
- 天理ダム洪水調整放流設備(土木施設)工事 -
- ⑤ 鉄道高架橋工事におけるICTの活用  
- 京都線・千里線淡路駅周辺連続立体交差工事(第4工区) -

## JR福知山線の上空を約15度の交差角で横断する新名神高速道路 生野大橋の設計・施工

本発表事例は、JR福知山線の上空を約15度の交差角で横断するため、実際の施工には厳しい制約条件があったことから、鉄道営業線への配慮や大幅な工程回復を実現するために実施した設計・施工両面での種々の取組みの紹介がありました。

- ・ 超大型移動作業車の採用とウェブ構造
- ・ 斜材定着構造の変更
- ・ 斜材の制振対策対策と維持管理性の向上
- ・ 柱頭部の押し出し架設
- ・ プレキャスト壁高欄の採用

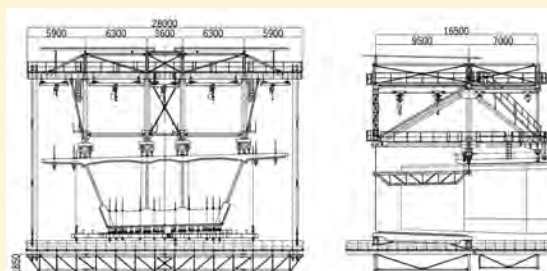
◎国内初の一面吊り波形鋼板ウェブエクストラードスト橋



(a) 押し出し前

(b) 押し出し後

柱頭部の押し出し架設の前後



正面図

側面図

超大型移動作業車構造図

# 新入会員紹介



## ジョイントロードサービス株式会社

### 会社概要

会社名：ジョイントロードサービス株式会社  
代表者：代表取締役 塩崎寿知  
所在地：〒661-0981  
尼崎市猪名寺2丁目20番20号  
TEL 06-6498-0077 FAX 06-6498-0066  
支店  
大阪市西区南堀江4丁目10番9号  
パークヴィレッジ南堀江1階  
創業：平成元年1月19日  
設立：平成6年3月10日  
事業内容：道路標識・道路標示・防護柵・遮音壁等設置工事

### 会社紹介

平成元年創業の交通安全施設工事を手掛けている会社です。創業当時は道路標示工事がメインでしたが、現在では一般土木工事、道路標識、防護柵、遮音壁など交通安全施設工事全般を取り扱っております。

近年は新名神高速道路・神戸宝塚間標識工事、第二神明道路防護柵改良工事などの高速道路の工事を手掛け、また舞鶴若狭自動車道・敦賀南スマートインターチェンジ標識工事、山陽自動車道・岡山高速道路遮音壁工事、中国自動車道・津山高速道路防護柵工事、山陽自動車道・周南高速道路遮音壁工事、土木工事では北陸新幹線小松工区にも携わり、関西圏以外にも活動の場を広げております。

人手不足が課題の業界ですが、労働条件の改善や働き方改革にも積極的に着手し、若手が成長できる会社とし更に発展を目指しております。

今後ともよろしくお願いたします。



## 株式会社キナン

### 会社概要

会社名：株式会社キナン  
代表者：代表取締役社長 角口孝幸  
所在地：本社 〒647-0014  
和歌山県新宮市浮島1番25号  
TEL 0735-21-3800 FAX 0735-23-2339  
営業本部 〒598-0048  
大阪府泉佐野市りんくう往来北1  
SiS りんくうタワー 18F 1802-A  
TEL 072-447-8680 FAX 072-447-8682  
ICT事業部 〒647-0081  
和歌山県新宮市新宮 8001-10  
TEL 設置無し FAX 0735-22-2255  
他全国44拠点  
創業：1974年1月  
設立：1981年6月  
事業内容：■建機レンタル事業  
建設機械のレンタル・販売・修理  
■温浴・ホテル事業  
日帰り温泉施設・リゾートホテルの運営  
■クリーンエネルギー事業  
太陽光発電所の建設・運営

### 会社紹介

弊社は紀伊半島の新宮市に創業し全国にネットワークを持つ企業として、建設機械のレンタル、販売、修理のサービスを提供する企業です。

当社は地域に密着した「お役立ち提案営業」を礎にお客様がニーズに気付く提案と、整備の行き届いた建設機械の供給を我々の使命と捉え、経営理念にあるすべての人々にとって「キナンでよかった」という想いを感じていただけるよう、日々社員は自分磨きに取り組むと共に、サービスの向上に努めています。

2016年にi-Constructionが提唱された当初よりICT事業部を立ち上げ、自社の専任エンジニアを育成し、レーザースキャナ搭載型UAVを保有、各ソフトウェアを取り揃え、ICT活用工事において測量から設計、ICT建設機械のご提供、最終の成果品作成までのサービスを可能とした、ワンストップソリューションを実現し、全国各地でご用命いただいております。

日進月歩で革新するICT施工技術をいち早く取り入れ弊社サービスを通じて建設業界の生産性向上に寄与して参ります。



## 株式会社サイガ

### 会社概要

会社名：株式会社サイガ  
代表者：代表取締役 才賀紀三郎  
所在地：〒592-0001

大阪府高石市高砂 2-5  
TEL 072-268-1122 FAX 072-268-0565  
神戸支店 〒651-2312  
兵庫県神戸市西区神出町南 621-2  
TEL 078-965-3222 FAX 078-965-3202  
東京支店 〒110-0016  
東京都台東区台東 2-20-13 古茂田ビル 3F  
TEL 03-5817-4722 FAX 03-5817-8612  
堺営業所 〒590-0062  
大阪府堺市堺区北安井町 2-8  
カイザ 15ビル 301  
TEL 072-227-5989 FAX 072-227-5989  
金沢営業所 〒924-0073  
石川県白山市千代野東 1-13-2  
TEL 076-274-3271 FAX 076-274-3271  
大阪事業所 〒592-0001  
大阪府高石市高砂 2-1  
TEL 072-268-0332 FAX 072-268-1033  
貝塚重機センター 〒597-0073  
大阪府貝塚市脇浜 332-1  
TEL 0724-36-2200 FAX 0724-36-0016  
和歌山重機センター 〒640-0103  
和歌山県加太 2362-19

創業：1967年5月1日  
設立：1998年7月24日

事業内容：クレーン・リース業 重量物運搬据付業  
プラント 組立定期補修業 民間車検整備事業

### 会社紹介

当社は昭和 42 年に創業、以来クレーン・リース及びそれに関連する事業を中心に『安全』と『誠実』をモットーとして、社会の発展に寄与すべく取り組んで参りました。

平成 18 年、社名を株式会社サイガと改め、『安全』と『誠実』のモットーに加え、『社会貢献』『共存共栄』『目的の共有』の 3 つの柱を経営理念に据えて、お客様・地域社会・従業員及びその家族に対して、信頼され愛される会社を目指して新たなる出発を致しました。

創業以来、築き上げてきた優れた経験、高い技術力に加え、日本有数の超大型クレーン 1350t 吊りクレーンをはじめ百数十台の多種多様な機種を揃え、お客様の要望にお応えすると共に従業員一人ひとりも、技術だけでなく提案力ある人間として自分を磨き更なる社会への貢献を目指して取り組んでおります。

そして、世界の経済構造が大きく変化しつつある時代において、当社もどの様な貢献が出来るのかを見出すために中東ドバイに関連会社を設置し、活動を始めました。

この様に、『地域で』『日本の各地で』『あらゆる種類の現場で』そして『世界で』の貢献を目指して、取り組んで参りますので、宜しくご愛顧の程お願い申し上げます。

# 書籍紹介

一般社団法人日本建設機械施工協会では以下の書籍を取り扱っております。

ホームページでも内容を紹介しています。 [http://jcmakansai.main.jp/b\\_guid.html](http://jcmakansai.main.jp/b_guid.html)

## 令和2年度版建設機械等損料表



公共機関が発注する建設工事で使用される各種の建設機械や機械設備等に関する機械損料諸数値（国土交通省の“建設機械等損料算定表”に準拠）を掲載したもので、工事費の積算や施工計画の立案等、様々な場面において有効・有益な資料となります。

本書は、“損料算定表”“関連通達・告示等”を最新版に刷新するとともにi-Constructionの推進に合わせ、近年施工現場への導入普及が進んでいる“ICT施工対応型”機械を新規に掲載しました。

## よくわかる建設機械と損料2020



“令和2年度版建設機械等損料表”の記載・掲載内容を解説したものです。

そもそも機械損料とは何かについて、できるだけ平易な言葉で解説するとともに、ここで用いる用語・数値の意味や、みなさんから質問の多い「損料の補正」方法についてもわかりやすく解説しています。

## 令和2年度版橋梁架設工事の積算・手引き



一般に施工される架設工法について、仮設備機械の数量算出と損料の解説を行い、その積算例をもって理解を助けるものとしています。さらに標準的な工法については略図でその施工方法を解説しています。特に架設歩掛について

では、公表されている国土交通省土木工事積算基準の諸数値を印刷書体（土木工事標準歩掛はゴシック体）で区分するとともに、関係する他の歩掛についても参考値として示し使用者の利便を図っています。

## 大口径岩盤削孔工法の積算 令和2年度版



岩盤削孔工法の積算方法や施工技術について、初心者にもわかりやすく、また利用のしやすさを念頭に開設しています。令和2年度改正に準拠するとともに、施工条件等に値央した岩盤削孔技術の事例を追加して、内容の充実を図っております。

書籍名	発行年月
橋梁架設工事の積算・手引き(令和2年度版)	令和2年5月
よくわかる建設機械と損料2020	令和2年5月
大口径岩盤削孔工法の積算(令和2年度版)	令和2年5月
建設機械等損料表(令和2年度版)	令和2年5月
2019年版日本建設機械要覧	平成31年3月
ICTを活用した建設技術(情報化施工)	平成29年4月
情報化施工デジタルガイドブック	平成26年3月
建設機械施工ハンドブック(改訂4版)	平成23年4月
情報化施工の実務	平成22年7月
情報化施工ガイドブック2009	平成21年11月
除雪機械技術ハンドブック	平成19年12月
建設機械施工安全技術指針・指針本文とその解説	平成18年2月
建設機械ポケットブック(除雪機械編)	平成17年9月

書籍名	発行年月
建設施工における地球温暖化対策の手引き	平成15年7月
機械設備点検整備共通仕様書(案)	平成15年6月
機械設備点検整備特記仕様書作成要領(案)	
道路機械設備遠隔操作監視技術マニュアル(案)	平成15年6月
地球温暖化対策 省エネ運転マニュアル	平成15年6月
建設工事に伴う騒音振動対策ハンドブック(第3版)	平成13年2月
移動式クレーン、杭打機等の 支持地盤養生マニュアル(第2版)	平成12年3月
建設機械図鑑	平成11年5月
建設機械用語集	平成9年5月
ジオスペースの開発と建設機械	平成6年8月
建設作業振動対策マニュアル	平成6年4月
建設機械履歴簿	

# 支部行事報告

## 支部行事報告（1月）

### ■令和元年度2級建設機械施工技術検定試験（2回目 学科）試験監督者打合せ

月 日：1月9日（木）

場 所：関西支部 会議室

出席者：松本克英事務局長以下 10 名

議 題：① 学科試験監督要領について  
② その他留意事項

### ■建設用電気設備特別専門委員会（第 457 回）

月 日：1月15日（水）

場 所：中央電気倶楽部 会議室

議 題：① 「JEM-TR121 建設工事用電機設備機器点検保守のチェックリスト」見直し検討  
② 2019 年度 JEM 規格類の 5 年見直し調査について  
③ 委員会活動報告について  
④ 本年度見学会について  
⑤ その他

### ■令和元年度2級建設機械施工技術検定試験（2回目 学科）

月 日：1月19日（日）

場 所：大阪保険医療大学

受検者：2級 210 名（1種 33 名、2種 180 名、4種 22 名、5種 2 名、6種 3 名）

## 支部行事報告（2月）

### ■令和元年度 施工技術報告会

月 日：2月13日（木）

場 所：建設交流館 グリーンホール

参加者：151 名

内 容：① ICT 建機を用いた切土工事の生産性向上事例  
② JR 福知山線を鋭角に跨ぐ生野大橋の設計・施工  
③ 鉄道営業線上における高速道路橋梁の補修  
④ 改造スロットスターを用いたダム堤体部の削孔  
⑤ 鉄道高架橋工事における ICT の活用

### ■「建設技術展 2019 近畿」主催・共催者会議

月 日：2月19日（水）

場 所：大阪マーチャングイズ・マートビル

出席者：松本克英事務局長

議 題：① 「建設技術展 2019 近畿」の開催結果について  
② 次回開催に向けて（反省、提案等）  
③ その他

### ■兵庫県県土整備部との意見交換会

月 日：2月19日（水）

場 所：兵庫県職員会館

参加者：松本克英事務局長以下 31 名

内 容：① 入札契約制度について  
② 働き方改革の取組み  
③ 意見交換

### ■建設用電気設備特別専門委員会（第 458 回）

月 日：2月19日（水）

場 所：中央電気倶楽部 会議室

議 題：① 「JEM-TR121 建設工事用電機設備機器点検保守のチェックリスト」見直し検討  
② 見学会について  
③ その他

## 支部行事報告（3月）

### ■企画部会（書面会議）

月 日：3月5日（木）

出席者：村中浩昭企画部会長以下 5 名

議 題：① 令和 2 年度事業計画（案）及び収支予算（案）  
② 会員の推移  
③ 優良建設機械運転員等表彰の推薦  
④ 総会終了後の講演について  
⑤ 今後の予定  
⑥ 書面会議の適用について

### ■運営委員会（書面会議）

月 日：3月18日（水）

出席者：深川良一支部長以下 31 名

議 題：① 令和 2 年度事業計画（案）及び収支予算（案）  
② 会員入退会  
③ 優良建設機械運転員等表彰の推薦  
④ 総会終了後の講演について  
⑤ 今後の予定

## 支部行事報告（4月）

### ■支部監査

月 日：4月14日（火）

場 所：関西支部 会議室

出席者：田口定一支部監査役、神谷敏孝支部監査役

内 容：令和元年度決算報告及び関係書類に基づく監査の実施

### ■企画部会（書面会議）

月 日：4月15日（水）

出席者：村中浩昭企画部会長以下 5 名

議 題：① 令和元年度事業報告（案）及び決算報告（案）の件

- ② 令和2・3年度運営委員選任の件
- ③ 優良建設機械運転員等表彰の件
- ④ 令和2年度会長表彰の件

## ■運営委員会（書面会議）

月 日：4月23日（木）

出席者：深川良一支部長以下31名

議 題：① 令和元年度事業報告(案)及び決算報告(案)の件

- ② 令和2・3年度運営委員選任の件
- ③ 優良建設機械運転員等表彰の件
- ④ 令和2年度会長表彰の件

## 支部行事報告（5月）

### ■支部通常総会

月 日：5月18日（月）

場 所：関西支部 会議室

議決権総数：124票（団体会員124社）

出席議決件総数：103票（内委任状出席101社）

出席者：深川良一支部長以下5名

- 議 題：① 令和元年度事業報告及び決算報告の件
- ② 令和2年度事業計画及び収支予算の件
  - ③ 任期満了に伴う役員選出の件
  - ④ 令和2年度会長表彰
  - ⑤ 優良建設機械運転員等表彰

## 支部行事報告（7月）

### ■建設用電気設備特別専門委員会（第459回）

月 日：7月9日（木）

場 所：中央電気倶楽部 会議室

議 題：① 「JEM-TR121 改正案」 審議

- ② その他

### ■「建設技術展 2020 近畿」主催・共催者会議（第2回）

月 日：7月17日（金）

場 所：大阪マーチャングाइズ・マートビル

出席者：桐野尚子

議 題：① 「建設技術展 2020 近畿」新型コロナウイルス対策について

- ② その他

### ■広報部会

月 日：7月22日（水）

場 所：関西支部 会議室

出席者：木村泰男広報部会長以下5名

議 題：① 年間事業計画について

- ② 「JCMA 関西」第117号について

## 支部行事報告（8月）

### ■令和2年度 1・2級建設機械施工技術検定試験（実地）試験監督者打合せ

月 日：8月5日（水）

場 所：関西支部 会議室

出席者：松本克英事務局長以下11名

議 題：① 実地試験実施要領について

- ② その他

### ■令和2年度 1・2級建設機械施工技術検定試験（実地）試験監督者打合せ

月 日：8月7日（金）

場 所：関西支部 会議室

出席者：松本克英事務局長以下2名

議 題：① 実地試験実施要領について

- ② その他

新型コロナウイルス感染症によって、予定が変更された行事は以下の通りです

令和2年 2月 建設業、リース・レンタル業合同討論会 【中止】

3月、4月 企画部会 【書面会議】

3月、4月 運営委員会 【書面会議】

3月、4月、5月、6月 建設用電気設備特別専門委員会 【中止】

4月 建設業部会 【中止】

5月 支部通常総会 【書面会議】

6月 令和2年度施工技術検定試験1級・2級（学科第1回）

1級【10月11日に延期】、2級【令和3年1月17日に延期】

7月 損料・橋梁・大口径積算技術講習会 【中止】

令和3年 2月 施工技術報告会 【中止】

令和2年。「新型コロナウイルス感染症」の年。

みなさまもお仕事、私生活ともに様々な我慢やご苦労を余儀なくされています。

新しい生活様式として、マスク着用、手指消毒 etc...etc...行事の延期、中止。

家族や友人と会うことさえままならず、こういう生活がどのくらい続くのか、見通しが立たない状況にあります。

在宅勤務、オンライン会議など、ITが発達している現代だからこそやっていけるシステムを活用しつつ、何とかみんなと、乗り切っていきましょう。

この間、厚生労働省から新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、「雇用調整助成金」の特例が拡大されました。「新型コロナウイルスのせいで、従業員を休ませざるを得ない。解雇なんてしない。休ませてもきちんと給与を支払う」という企業に、休業期間の従業員の給与の一部を国が助成するという制度です。

助成する内容やその対象は大幅に拡大され、申請書類の簡素化も行われました。が、如何せん、それでも手続きが大変。申請してもいつ助成金が下りてくるのか分からない等、現場は大混乱だったようです。手続きは9月30日まで。無事に申請できましたでしょうか？

もう一つ、今回、世間の注目を浴びたのが「手話通訳」という仕事です。聴覚障害者の情報保障として、安倍

元総理大臣の隣でも、西村経済再生大臣の隣でも、その日本語を手話という言語に替えている人たちが、必ずいました。おかげで手話通訳の認知度が上がり、障害を持つ人も持たない人も共に生きる社会の実現が、大きく一歩近づくきっかけとなった年でもあります。

私自身、手話の勉強を始めて、7年目を迎えました。手話は日本語とは文法や構造が異なる言語です。中学・高校・大学まで習った英語が、身に付かなかったように、第二言語として、手話を習得するのは、私にとって至難の業です。将棋の藤井聡太さんが、コロナ禍の自粛期間中、じっくりと研究に打ち込んだ結果、史上最年少の初タイトル（棋聖）獲得、最年少二冠（王位）、最年少八段昇段…とは、えらい違いなのでした。



#### 緊急事態宣言の実施状況

4月7日	当初緊急事態宣言 4月7日から5月6日まで 7都府県（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県及び福岡県）
4月16日	緊急事態宣言の区域変更（7都府県から全都道府県に拡大）
5月4日	緊急事態宣言の期間延長 5月31日まで
5月14日	緊急事態宣言の区域変更 8都道府県（北海道、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、京都府、大阪府及び兵庫県）
5月21日	緊急事態宣言の区域変更 5都道府県（北海道、埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県）
5月25日	緊急事態宣言解除

## 編集後記

この度、2020年4月に広報部会長を拝命しました日立建機日本の木村です。

この場をお借りしてご挨拶とさせていただきます。

今年は本来であればオリンピックイヤーで日本中が1番の盛り上がりを見せる1年となる予定でしたが、新型コロナウイルスが猛威をふるい、思ったような活動ができていない2020年になっていることは誰も予想出来なかったことと思います。

しかしながら、WITHコロナと言われるようにコロナとうまく付き合っていくしかない中で、世の中の急激な変化、新たな働き方が注目される1年となりました。

さて、私事ですが、7年ぶりに関西に帰って来まして、感じた事は、2つあります。

1つ目は、ICT活用工事の拡大に伴い、地元の建設業者がICTに積極的に取り組んでいることに驚きました。地元建設業者の生き残りをかけICTを積極導入しており、我々もICTに対応すべく、社会、業界の変化に対応する必要があると感じました。

2つ目は、働き方改革に伴う仕事の変化です。

就職氷河期世代で育った私は職場の長として、今の働き方への戸惑いもあります。また、コロナウイルス対策も相まって更に新たな働き方を模索する必要があると思うところではあります。

そんな中、関西は、何と言っても2025年大阪万博が控えています。

万博に向けた関連工事も始まり、このコロナを吹き飛ばすくらい、明るく元気に楽しい業界になればと思います。

広報部会は、メンバーの半数が新しいメンバーとなりました。中々、集まる機会が少ないですが、これまでの流れを踏襲しつつ、新しいニュースや関西の新たな発見、様々な情報を皆さまにご紹介するとともに、関西支部の盛り上がり貢献して行きたいと思っています。

以上  
編集部一同



### 原稿をお寄せください

『JCMA関西』に原稿をお寄せください。内容はなんでも結構です。

新機種・新工法の紹介、社内報の紹介、

随筆、川柳、提言、体験記、ご意見、 など…

送り先：一般社団法人 日本建設機械施工協会 関西支部

### JCMA関西編集委員

木村泰男（委員長）

高橋通夫

小段栄一

野ツ俣克彦

十河欣也

小西伸之

新稲信人

松本克英（事務局）

桐野尚子（事務局）



至天王寺 交通: 地下鉄谷町線天満橋駅④番出口より徒歩3分  
京阪電車天満橋駅より徒歩5分

一般社団法人 **日本建設機械施工協会関西支部**

〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4 谷町スリースリースビル  
TEL. 06 (6941) 8845・8789  
FAX. 06 (6941) 1378  
e-mail jcmakans@muse.ocn.ne.jp  
http://jcmakansai.main.jp